第２学年　　社会科　学習指導案

Ⅱ　指導の実際

１　単元（題材）名　地理分野　日本の諸地域　「関東地方」Ｃ（3）

２　単元（題材）の目標

・関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解すること。（知識・技能）
・人口や都市を中核とした考察の仕方で、東京大都市圏への人口集中と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること。（知識・技能）
・関東地方において、東京大都市圏への人口集中の成立条件を産業や、教育、交通網などと関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。（思考・判断・表現）
・関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究すること。（主体的に学習に取り組む態度）

３　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ・人口や都市を中核とした考察の仕方で、東京大都市圏への人口集中と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。	・関東地方において、東京大都市圏への人口集中の成立条件を産業や、教育、交通網などと関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	・関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

４　単元の構想

（１）単元について

本単元では、中学校社会科学習指導要領（２）内容の「C 日本の様々な地域」の「（３）日本の諸地域」にあたり「幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること」や、「①から⑤までの考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること」や、思考力・判断力・表現力については、「日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する」力を身につけることができるように指導することが求められている。

これを踏まえ、関東地方については、考察の仕方のうち主に②の「人口や都市・村落を中核とした考察の仕方」を基にして、前述のような知識や思考力、判断力、表現力を身につける単元とする。関東地方の地域的特色として、特に今回注目するのは「東京大都市圏への人口集中」である。日本一広い関東平野に人口が集まり、政治・経済・文化の中心となっている。東京大都市圏が拡大を続けることで発達した交通網や情報網により、他の地域や国外との結びつきが強くなっていることも特色の１つである。同様に、次時では、人口集中に伴う様々な都市問題が深刻化していることもおさえなければならない。「なぜ、東京大都市圏に人口が集中するのか」という課題について、資料やタブレットを活用しながら関東地方の地域的特色を理解できるよう授業を構成する。

（２）指導の工夫

・「４単元の構想」の「生徒について」において述べた、受け身の生徒を巻き込み、全員で授業をつくること。また、研究主題である「できる授業」「学び合う授業」を達成するために、今回は「知識構成型ジグソー法」を用いることとした。

・**知識構成型ジグソー法の利点**（展開については別紙参照）
⇒学習活動展開の前に予想を記入させ、授業の事前と事後で学習の変容を実感させる。
⇒同じ資料のグループで資料を読み取る「エキスパート学習」を行い、分からない点はお互いに教え合える環境を準備する。
⇒「ジグソー学習」では、役割を用意することで、自己有用感を持たせ、学習への意欲を高める。
⇒「ジグソー学習」では、班のメンバーそれぞれが読み取った資料を基に、対話をしながら課題を解決していくことを促す（一人の資料からの情報では、解決が不十分である課題を設定する）

５　単元（題材）の指導計画（本時３時間／４時間）

時	学習のねらい（〇）と主な学習内容（・）	評価			
		知・技	思	主	評価規準
1	〇関東地方の特色について、地形、気候、産業、人口について理解する。 ・主な地形の位置、名称、雨温図の特徴を地図や図を基に確認する。 ・資料から、関東地方の人口や産業の特徴を読み取らせる。	〇		〇	・関東地方の自然環境について資料を活用して調べ、基礎的な知識を身につけている。 ・関東地方の人口や産の特徴について意欲的に追究している。
2	〇東京大都市圏の人口集中の特徴について考えを深める（①）。 ・交通網、学校、企業、情報（報道・メディア）の視点に分かれ、タブレットや教科書の資料を用いながら、人口集中の特徴について、ジグソー学習で調べる。		〇		・関東地方において、東京大都市圏への人口集中の特徴を産業や、教育、交通網などと関連付けて多面的に考察し、表現している。
3（本時）	〇東京大都市圏の人口集中の特徴について考えを深める（②）。 ・前時にジグソー学習で調べた内容を、元の班に戻り、まとめる。 ・ジグソー学習で得た知識をまとめ、学習課題に対する答えを表現する。		〇		・関東地方において、東京大都市圏への人口集中の特徴を産業や、教育、交通網などと関連付けて多面的に考察し、表現している。
4	〇関東地方の人口の流れや産業の特色を理解する。 ・地図やグラフを読み取らせ、工業地域の立地と工業生産の特色について理解させる。 ・農業の特色を人口分布と関連させて説明させる。 ・東京 23 区の昼夜間人口について、資料から読み取りをさせる。	〇			・関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ・人口や都市を中核とした考察の仕方で、東京大都市圏への人口集中と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。

６　本時の学習（3時間目／全４時間　生徒数３５人）

（1）本時のねらい

・　東京大都市圏への人口集中について、仲間とともに資料を読み取る活動やまとめる活動を通して、関東地方への人口集中の特徴を２つ以上の視点を、関連させて表現することができる。（思考力・判断力・表現力）

（2）本時の展開

学習活動	教師の働き掛け と予想される児童生徒の反応	■評価・○留意点
（導入）５分 ①　資料から、関東地方の人口は全人口の約３分の1を占め、集中していることに気づく。	T：このグラフを見て関東地方の人口について、気づくことはあるかな。 S：関東地方は人口が他地域よりも集中している。 T：特に人口の多い、東京、神奈川、埼玉、千葉の４都県を何と言ったっけ？ S：東京大都市圏 T：では、そこに人口が集中するのはなぜなのかを、多面的に見ていきましょう。	○資料を使用し、生徒の気づきを拾うことで、授業への関心を高める。
学習課題：なぜ東京大都市圏に人口が集中するのだろうか。		
（展開）８０分 知識構成型ジグソー法 （Xチャートを用いて） ②　資料やタブレットの検索機能を基に関東地方の人口集中の特徴についての課題を読み取る。	T：この課題に対する予想を記入してみましょう。 S：住みやすいからじゃないかな？ S：企業が多いからじゃない？ S：電車とか交通の便が良いからだと思う。 T：この課題を、2時間で解決していこうと思います。 T：以前の近畿の学習や皆さんの意見を踏まえて、4つの視点を提示します。それぞれ、どの視点の優先度が高いかの予想をグラフに表現してみましょう。 T：まず、現在の班でA～Dのどの視点を調べたいか役割分担を決めてください。 A　「交通網」 B　「学校」 C　「企業・官公庁」 D　「情報・観光」 S：学校については、大学生になったら上京しようと思っているから関心があるよ。 **【エキスパート学習】** T：エキスパート学習を行うので、A～Dの担当ごとに分かれましょう。 T：まずは、個人で追究をおこないます。資料やタブレットの検索機能から読み取れることを、「課題を解決する際に使えそうな部分はないか」という視点で記入してみましょう。その際に根拠となる図やグラフなどから読み取れることもメモしておくと良いですね。 T：次に、エキスパートグループで共有し、自分に足りない視点などを補います。	○ワークシートを配布する。 ○興味のある視点が重なった場合は、予想の段階で、優先度が高い人が担当するように促す。 ○どこの席に移動すれば良いか、明示しておく。 ○読み取る視点を提示することで、課題を再認識させる。 ○手が止まる生徒には個別に声かけをする。

	T：今日は、前回の授業の続きからいきます。思い出すために、個人追究を1分間行った後、エキスパートグループ学習を行います。では、個人追究を始めてください。 **【エキスパート学習：各グループで出そうな意見】** T：では、エキスパートグループ学習を始めましょう。 **Aグループ（交通網）** S：JRだけじゃなくて、地下鉄も張り巡らされているね。 S：飛行機の便が多くて、日本だけじゃなく、世界にもいきやすいね。 **Bグループ（学校）** S：大学の学校数が他の地方より明らかに多い。 S：大学生の数も東京都だけで、全国の4分の１も集まっている。 **Cグループ（企業・官公庁）** S：就職先がたくさんある。 S：全国に支店をもつ企業の本社が集まっているね。 **Dグループ（情報・観光）** S：テレビ局や新聞社が多い。 S：観光施設や宿泊施設など、旅行者が楽しめる施設がたくさんあるよ。	○机間指導を行う際に、できるだけ生徒の言葉で捉え、誘導しすぎないよう心がける。 □ノート【知識及び技能】
③　元の班に戻り、エキスパートグループで読み取った資料を共有する。 ④　課題に対しての回答を班で考える。	T：全員元の班に戻ってください。 T：それぞれの資料の読み取り結果をXチャートに表します。発表者のみ、自分のノートを見ることができます。発表者以外の人がキーボードで書記を行うようにしてください。また、その後Xチャートを元に、課題に対する回答を各班一つの文章にして発表してもらいます。単に書き写すだけでなく、それぞれの視点から2つ以上を関連させられると良いです。みんなで考える課題（なぜ東京大都市圏に人口が多いのか）がありますのでじっくり考えてみてください。 S：Aさんが発表している時は、私が書記するね。 S：交通網が発達していることも、人口が集中することの原因だよね。 S：大学で上京する学生が多いから、人口が増加するんじゃないかな。 S：交通は全てにつながっている気がするよ。	○思考を促すツールとして「Xチャート」を用いる。 ○発表者以外の人が書記を行うことで、文章の丸写しを避ける（自分が理解をし、伝える）。 ○各視点からの発表の際に制限時間を設けることで、要点を絞って伝える力を養う。
⑤　課題に対しての回	T：班でまとめたものを全体に発表してもらいま	○班でのまとめは

答を全体に対して発表する。	す。文章をロイロノートの提出箱に提出をしてください。 S：（例）関東地方は、交通網が発達し全国・世界に張り巡らされている。交通の便が良いから企業に勤める人が東京大都市圏に住むから人口が集中している。 （例）情報が多く、その情報網を求めて、新聞社やテレビ局が多い。それらに関連した企業に勤める人やその家族が住むため、人口が多い。	、必ずしも4つの視点を全て入れる必要はなく、課題に対して自分たちが重要だと思う内容を**できるだけ関連させて**記述させるよう声かけをする。 ○ロイロノートの画面をＴＶに写し出し、発表係が発表する。
（終末）15 分 ⑥　個人で班の発表から気づいたことをまとめ、課題に対しての答えや振り返りを記入する。	T：班でまとめたものやXチャートを参考にしながら、全体でまとめます。 S：（まとめ） （例）関東地方は、交通網が発達し全国・世界に張り巡らされている。交通の便が良いから企業に勤める人が東京大都市圏に住むから人口が集中している。 （例）情報が多く、その情報網を求めて、新聞社やテレビ局が多い。それらに関連した企業に勤める人やその家族が住むため、人口が多い。 T：班でまとめたものやXチャートを参考にしながら、割合グラフにもう一度記入します。 T：班でまとめたものやXチャートを参考にしながら、振り返りを記入します。 S：（振り返り） 話し合う中で、なぜ関東地方に人口が集中するのか、予想では、住みやすいからがだけだと思っていた。しかし、資料を読み取る活動の中で、いろいろな要因があることに気づいた。他にも理由がないか調べてみたいし、実際に行ってみたくなった。	○まとめは、要点をしぼり、簡潔にすることを促す。 ○予想との変容にも目を向けさせるように声かけをする。 □ワークシート 【思考・判断・表現】

（3）本時の評価

・　東京大都市圏への人口集中について、仲間とともに資料を読み取る活動やまとめる活動を通して、関東地方への人口集中の特徴を、２つ以上の視点を関連させて表現することができている。（思考力・判断力・表現力）

A 評価の例
関東地方は、交通網が発達し全国・世界に張り巡らされている。交通の便が良いから企業に勤める人が東京大都市圏に住むから人口が集中している。

【板書計画】

学習課題

なぜ東京大都市圏に人口が集中するのだろうか。

学習の流れ

①エキスパート学習
②元の班での発表
③各班でまとめを考える
④個人振り返り

まとめ

各班で発表したまとめの共通点を書き出し、まとめを生徒の言葉を基に作成していく。

7　取組の重点

（1）研究主題

「できる授業」「学びあう授業」～「見方・考え方」を働かせる深い学びの実現～

（2）研究主題を実現するための重点的な取組

「できる授業」：「元の班に戻り、発表する」という過程で実践する。元の班では、自分しか各視点を調べていないため、Xチャートに自分の調べてきたことをまとめることで、「できた」という自己有用感や達成感を味わうことができると考える。

「学びあう授業」：「エキスパート学習」で実践する。調べ学習が苦手な生徒もエキスパート学習で、共有する時間を設けることで、仲間に聞くことができるため、安心して学ぶことができると考える。また、元の班に戻り、発表する際にも、「学びあい」での実践ができると考える。

「見方・考え方」を働かせる深い学び：「予想と学習後の変化の割合グラフ」で実践する。関東大都市圏への人口集中の理由に対する見方・考え方を視覚的に表現するため、割合のグラフを用いる。事後との比較をし、どのように変容したかを見取ることで、学びの成果を実感させることにもつなげたい。